

# 野蒜復興新聞

## 画地位置決め方法の検討

### 各地区別説明会予定



高台移転部会終了後に造成地の視察を実施(2月11日)

2月3、11、17日にそれぞれ高台移転部会が開催されました。現在協議されている議題の1つは「画地位置決め方法の検討」です。提案された4つの方法は①「抽選順選択・くじを引いて番号の早い順番に画地を選択して決める」②「単純抽選・くじを引く順番を決めるための

くじを引き、番号の早い順番に再度画地番号の書かれたくじを引いて画地を決める」③「選択・抽選(ドラフト)・希望する区画を選択し、単独の場合は決定、重複する場合は抽選等で決める」④「話し合い・皆で話し合いをして決める」。3つのテーブルに分かれ、コンサルタントの進行のもと各役員さんの意見や考えを協議しました。3月には各地区別対象者へ現在までの協議内容の説明会を実施します。(左参照)

#### 高台移転部会 説明会

場所/時：野蒜市民センター19:00

宮戸/新町/中下：3月5日(火)

亀岡/洲崎：3月6日(水)

東名/新東名：3月7日(木)

※防災集団移転希望世帯を対象としています。災害公営住宅希望世帯は別途3月に説明会を予定しています



野蒜地区へ残すべき資源はどのようなものがあるかなど協議

2月8日(金)18時30分から野蒜市民センターにおいて第2回復興部会が開催されました。このたびの部会では、市役所職員とコンサルタントが参加し「復興まちづくり土地利用基本計画」に向けた意見交換会を実施。2つのグループに分かれての協議では、さまざまな考えが提案されました。



まちづくり検討の前提となる規定計画の説明を受ける

# 復興部会 土地利用意見交換会

意見交換会のテーマは2つ「野蒜地区の大切なもの」そして「土地利用計画の方向性」。各2つのグループには2人ずつコンサルタントが進行役として参加。それぞれの意見や考えを図面上へ書き出し、メンバーで共有。また最後には各グループの意見を部会員が発表しました。提案された意見としては、「野蒜地区を観光

光業などで盛り上げ、若い世代の人々が集まるような、野蒜地区へ若い世代が帰ってくるような計画にし、また水没している干拓地へヨットハーバーなどの施設を設置してはどうか。」「野蒜の資源である運河をまず整備し直し、その後に松を植え、松林を再生させる。野蒜海岸の再開。そしてメモリアルパークを建設してはどうか。」など。

## 運河活用のまちづくり提案



またその他の協議事項として、復興部会で今後どのようなテーマを優先して協議していくべきかが話し合われました。決定した優先順位では、第一に「市指定避難場所の設定及び整備」であり、今後は市の防災交通課職員を交えて協議する予定となっております。第二は「緊急避難道路の整備」です。いつ津波注意報や警報が発表されても安全に避難できるように、今後は建設課職員を交えての協議が予定されています。野蒜地区復興協議会は早期復旧・復興を目指し今後も協議を続けてまいります。